

平成23年度 公の施設目標管理型評価書【新潟市民芸術文化会館】

施設名	新潟市民芸術文化会館				
管理者名	財団法人新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日		
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	区名	中央区	住所	一番堀通町3番地2	
根拠法令					
設置条例	新潟市民芸術文化会館条例				
施設概要	設 置				
<b>施設設置目的</b>					
音楽、演劇、能その他の舞台芸術の振興を図り、もって市民文化の向上に資する。					
<b>管理・運営に関する基本理念、方針等</b>					
<p>1 理念 芸術、芸能文化の継承と発展</p> <p>2 期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興</p> <p>【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など</p> <p>3 基本的使命 市民の文化活動への支援 質の高い専門性に富んだ芸術を鑑賞する機会の提供 文化を支える人材の育成 地域に根ざした文化創造</p>					
視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
	1 基準利用者数の達成	年間利用者数339,000人以上	362,120	A	
	2 基準稼働率の達成	コンサートホール稼働率 82.0%以上 劇場稼働率 78.0%以上 能楽堂稼働率 53.0%以上	コンサートホール 91.6%以上 劇場82.7%以上 能楽堂49.2%以上	B	能楽堂の実績向上に向け具体的な方策の検討が必要
	3 貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	アンケートによる調査99.5%	A	
	4 貸館利用者の意見やニーズを聴取するしぐみの有無	実施していること	貸館利用報告書とアンケートが一体となっており、利用者の意見を聴取しやすい取り組みを行っている。	A	
	5 貸館利用者に対するサービスの提供	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-1-④)	担当者・担当窓口を設置し、マニュアル等を基本としつつ、利用団体の特性や公演内容等に配慮した柔軟なサポートやサービスを提供している。	A	
	6 鑑賞者の満足度(※2)	創造系作品鑑賞者の満足度調査 鑑賞系公演鑑賞者の満足度調査 普及系公演鑑賞者の満足度調査 育成系公演鑑賞者の満足度調査 一それぞれ90%以上	鑑賞系90.3% 普及系91.1% 育成系90.6% 創造系94.7%	A	

	7	ホスピタリティに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-③)	①ホスピタリティ向上の必要性をスタッフに徹底している。②職員の服装や身だしなみ、挨拶の励行を徹底している。③客席案内やもぎりなどのサービスに努めている。④利用者の意見を収集している。⑤ホームページやチラシに館のアクセス経路や問合せ先をわかりやすく掲載している。	A	
	8	会館会員サービス、チケット販売サービスに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-⑥)	①機関紙・ニュースレターの送付。②チラシやダイレクトメールの送付。③メールでの情報提供。④会員先行予約・優先予約制度。⑤チケット割引制度。⑥カード決済。⑦チケットの事前郵送サービス。チケット購入者への駐車場割引サービス	A	
	9	飲食、物販サービスに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-⑧)	ビュッフェ、レストランなどにも、利用者の声や要望を反映させ、地産地消の促進やサービスの改善に努めている。	A	
	10	年間公演回数(※2)	自主公演の年間公演回数が、118公演以上	229公演	A	
	11	年間鑑賞者数(※2)	自主文化事業の年間鑑賞者数が、100,000人以上	124,091人	A	
	12	ワークショップ数・アウトリーチ回数(※2)	育成系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間6回以上	50回	A	
	13		普及系事業ワークショップ数・アウトリーチ回数が、年間5回以上	32回	A	
	14	育成系事業延べ参加者数(※2)	育成系事業の延べ参加者数 ジュニアオーケストラ(130人)、ジュニアコーラス(90人)ジュニア邦楽(30人)アプリコット(50人)以上	オーケストラ134人 コーラス91人 邦楽30人 アプリコット52人	A	
	15	創造系事業の実施(※2)	年間公演回数が、24回以上	14回	C	市内公演について検討が必要
	16	創造系事業市外公演回数(※2)	年間公演回数が、14回以上	14回	A	
	17	公演や催し物情報の情報発信	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO B-2-①)	①機関紙・ニュースレター、②ダイレクトメール、③ホームページ、④Eメール、⑤チラシ・ポスターの掲示、⑥他の公演会場でチラシを配布、⑦テレビ・ラジオ、⑧新聞、⑨雑誌やタウン誌	A	
	18	地域アピールに関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-7-①)	新潟発創造事業として能楽堂シェークスピアシリーズやダンスカンパニーNoismで新潟市を全国的にPRしている。平成21年度よりさらに地域への浸透・定着を目指すためNoism2を設立した。	A	
	19	会館記事の新聞掲載件数	名称や事業名等が新聞等に掲載された件数が年間150件以上	新聞掲載178回	A	
財 務	1	文化事業 自主財源比率	鑑賞系75%、普及系80%、育成系30%、新潟発創造60%、全体60%以上	鑑賞系79.4%、普及系74.1%、育成系48.2%、創造系52.3%、全体62.6%	B	新潟発創造事業の比率向上の検討が必要
	2	文化事業収入拡大に関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-3-②)	営業の担当者(部署)を置き、積極的にチケットの販売経路や顧客開拓、利用者拡大のための営業活用等を行い、事業収入の拡大に努めている。	A	

	3	外部資金導入額、導入率、外部資金導入に関する取り組み	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-3-①)	外部資金を戦略的に捉え、日頃から助成金の情報収集や企業に協力・協賛を依頼できる関係づくりを行うとともに、申請ノウハウを蓄積するなど、積極的に外部の資金の獲得・活用に努めている。	A	
	4	経費の削減	指定管理料(管理経費・事業費補助)を年度協定額及び交付決定額以下 指定管理料 602,333,000円 事業補助金 200,000,000円	指定管理料 600,930,116円 事業補助金 187,255,074円	A	
	5	市の歳入の増加	使用料収入 68,000千円以上	67,900千円	C	自主・貸館の割合分析が必要
	6	一人当たり経費	(年間総支出額÷年間延べ総入場者数)が3,800円以下	3,152円	A	
業 務	1	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画を作成し、必要に応じて見直しを行う。	修繕計画がある	B	
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	消防・防災訓練が実施されている。緊急時の迅速に、責任体制、マニュアル及び連絡網が整備されている。	A	
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	AED操作については職員に周知されている。	A	自主的に訓練を行っている。
	4	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針・事業目標の位置づけ	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-①)	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、劇場・ホールの事業や運営の指針となっており、達成目標が明確である。	B	
	8	運営方針、事業目標の市民への公開	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-⑥)	施設の運営方針は、HPIに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-0-④)	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている。	B	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-1-①)	市と定期的なミーティングを行っている。運営方針を踏まえながら、経費節減や経営の効率化に取り組んでいる。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	指定管理者が管理する個人情報について、漏洩、紛失事故防止のため、規定に基づき実施している。	B	
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	内部研修を行っている。	B	
	13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B	
	14	広域拠点施設としての役割の認識の有無	4段階評価(※1)を行い、3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO A-8-①)	広域拠点施設と認識しており、文化庁の「芸術拠点形成事業」の助成対象館になっている。	B	
	15	他の公立館との共同・連携公演の有無・回数	共同・連携公演の回数が年間3公演以上	0回	C	共同・連携の実施に向けて検討が必要

人 材	1	専門性の高い人材の配置, 育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能, 経験, 資格等を備えた職員を配置すること	芸術監督やレセプションリストを配置している。外部主催の専門的研修会にも積極的に参加している。	A	
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	4段階評価(※1)を行い, 3段階以上にあること (戦略・評価ユニットNO C-1-④)	組織内部での研修や, 外部研修も積極的に行うほか, 自主企画事業の機会を与えている。	A	
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準法違反に関する事例はなかった。	B	

総合評価(所見)	
<p>自主事業費を縮減していく中で, 概ね良好に実施できたと考える。事業数は評価指標を大きく上回っており, 高いレベルを維持している。年間利用者数も前年度と比較しても約2万人の増となっており, 事業の振興度の増がうかがえる。育成系の事業も少子化の中にあつて着実に参加者を伸ばしており, 人材の育成と文化の普及という館の基本理念の実現に貢献している。しかし, 自主事業の増の反面, 貸館の縮小により施設使用料の評価指標を下回る現象も見られ, 自主事業とのバランスの配慮が運営面で求められる。今後も, 芸術文化の拠点として, また他館などとの連携を密にしながら, 市民への普及, ひいては新潟市の文化振興に取り組んでもらいたい。</p>	

- 評価基準
- A 要求水準(=評価指標)を達成し, かつその達成度・内容が優れている。
  - B 要求水準(=評価指標)が達成されている。
  - C 要求水準(=評価指標)が達成されていない。

※1	4段階評価は, 「公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究 公立ホール・公立劇場の評価指針(簡略版)」(財団法人地域創造発行)に掲載されている「戦略・評価ユニット」により行う。 4段階(A) 継続とさらなる向上が期待される 3段階(B) ステップアップが望まれる 2段階(C) 見直しが必要である 1段階(C) 抜本的な見直しが必要である
----	--

※2	この項目については, (財)新潟市芸術文化振興財団が一体管理している音楽文化会館での業務内容を併せて評価しています。
----	--